

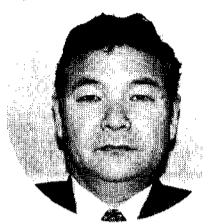


自然と触れ合うことで環境に対する思いやりを

自然と触れ合い、親しもう

～自然と環境を考える～

県立新津南高等学校長 樋浦卓嘉



花と緑の小須戸町

通勤途中に広がる田んぼの稲はすっかり刈り取られ、遠く山々が色づきはじめた。あちこちに深まりゆく秋を感じさせる。通勤しながら季節の移り変りを実感できるのはありがたいものである。小須戸町は平野あり、山あり、川ありと自然に恵まれている。居ながらにして自然との触れ合いができ、自然と親しめる素晴らしい環境の町である。花と緑の小須戸町を標榜していることもうなずける。

子供たちの自然体験の状況
 青少年教育活動研究会が実施した「子供たちの自然体験の状況」という調査記録がある。この記録は昨年七月に発表された中央教育審議会の第一次答申の中に資料、図表として載っている。この調

査は小学生から中学生まで、昭和五十九年と平成七年の自然との触れ合い体験の度合いを比較したものであるが、興味ある数字が並んでいる。木の葉、野草、きのこなどをとって食べたこと、が生まれてから一回も経験していないと答えた児童・生徒が昭和五十九年では、三十二%であったのが、平成七年では四十九%とほぼ半数にのぼっている。「日の出や日の入りをみたこと」がない生徒も昭和五十九年では二十%であったものが平成七年では四十三%と倍増していることには驚いた。自然そのものや自然現象に対する関心が全体的に薄らいでいることは、「自然保護」や「環境保全」の観点からしても問題だと思ふ。

地球環境の問題
 十二月に地球温暖化防止国際会議が京都で開催される。その準備会合、交渉の様子が新聞紙上をにぎわしている。最大の関心事が二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの削減目標にあるらしい。車の排気ガスなどに含まれる「二酸化炭素」は地球を温暖化させ、それにより海面の異常上昇をひき起こし、異常気象の元凶になるなど、我々の健康な生活を侵食してきている。そういう国際会議の開催だけでなく世界的に、今、地球環境ということが問題になっている。我国では、公害や自然破壊といったことが各地に起こったことからはじまり、ゴミなどの廃棄物問題、河川や海洋の水質汚染などが問題

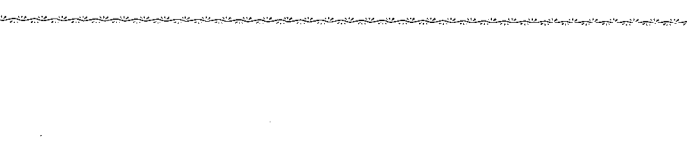
環境問題と密接にかかわっていることを知ったうえで、環境の保全やもっと良い環境を創るために、身近なところからなにか行動しなければならぬという気持ちや実践的態度を育てていくことである。そうだから、体験することが重要と思ふ。

例えば、ゴミを拾っているうちに、なぜこんなにゴミがでるのか考える。美化、環境の保全という観点から、空缶を捨ててはまずいことを知る。花や木を実際に育てることによって、自然をいとおしみ、生命あるものを大切にする気持ちがあわいてこよう。

地域での自然との触れあい
 学校だけでなく地域でも環境について考えさせる場を提議できる。自然に親しむことが環境について考えさせる第一歩であるから、星空観察、バードウォッチング、植物観察などの自然観察やキャンプなどの野外活動をはじめとして、様々な自然に親しむ機会を設けることが大切である。そういう意味で、小須戸町はこの豊かな自然環境を守り、それを利用して自然や環境を考える生きた教育ができると思う。現在、実際に行われているゴミ拾いや清掃活動などのボランティア活動を一層盛んにし、自然観察、野外活動の機会をもっと充実したものにしたい。一人ひとりが、かけがえない地域環境を大切に

第二十五回BSN旗争奪
 新潟県早起き野球大会
 十月十八日(土)・十九日(日)に新潟市宮島屋野球場で開催され、小須戸クラブがみごと優勝に輝きました。

対戦成績
 一回戦 小須戸クラブ2-0上越代表
 準決勝戦 小須戸クラブ3-0新潟代表
 決勝戦 小須戸クラブ6-1NIT新潟



小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
 〒956-01
 新潟県中蒲原郡小須戸町大字小須戸117番地
 TEL (0250) 38-2234
 FAX (0250) 38-5210
 編集 公民館報編集委員会

ちよこつと一言 (116)

「あぶくま洞」
 ほくは、十月十日に福島県の滝根町というところにある、「あぶくま洞」というところに行ってきました。けんを買って中に入りました。中はごつごつしていましたが、それに、すこしさむかったです。こうもりもとんでいました。とちゅうに大きい空洞がありました。写真をとつ



諏訪町一
 石田 高浩くん(小四)

てから見学しました。上を見たら落ちてきそうでした。そしてしようにゆう石というの気もちよかったです。クリスマスツリー」というのは、大きくて木が雪をかぶっているみたいでした。出口をでておみやげを買いました。おもしろかったです。また行きたいです。

第四十二回小須戸町剣道大会
 一般男子優勝に輝く!!
 十一月三日(月・祝)町民体育館において、第四十二回小須戸町剣道大会が開催されました。当日は、雲ひとつない晴天に恵まれ、大勢の観覧者でにぎわっていました。なかには我が子の晴れ姿をビデオで撮影している親ごさんの姿もちらほら。会場は、一日中選手たちの大きな声が響いていました。

スポーツ大会結果
 新潟県テニス選手権大会
 ダブルスの部
 十月十一日(土)に長岡市希望ヶ丘テニス場で開催されました。

大会結果
 優勝 吉田 正信(矢代田)組
 三位 井浦 国重(松ヶ丘)組
 三位 青木 英幸(亀田町)組
 (男子六十五歳以上の部)
 三位 宮田 正松(ケ丘)組
 三位 安沢 宏(白根市)組



どこに行っても自然と親しめる小須戸町

境問題と密接にかかわっていることを知ったうえで、環境の保全やもっと良い環境を創るために、身近なところからなにか行動しなければならぬという気持ちや実践的態度を育てていくことである。そうだから、体験することが重要と思ふ。

例えば、ゴミを拾っているうちに、なぜこんなにゴミがでるのか考える。美化、環境の保全という観点から、空缶を捨ててはまずいことを知る。花や木を実際に育てることによって、自然をいとおしみ、生命あるものを大切にする気持ちがあわいてこよう。

スポーツ大会結果
 新潟県テニス選手権大会
 ダブルスの部
 十月十一日(土)に長岡市希望ヶ丘テニス場で開催されました。

大会結果
 優勝 吉田 正信(矢代田)組
 三位 井浦 国重(松ヶ丘)組
 三位 青木 英幸(亀田町)組
 (男子六十五歳以上の部)
 三位 宮田 正松(ケ丘)組
 三位 安沢 宏(白根市)組

スポーツ大会結果
 新潟県テニス選手権大会
 ダブルスの部
 十月十一日(土)に長岡市希望ヶ丘テニス場で開催されました。

大会結果
 優勝 吉田 正信(矢代田)組
 三位 井浦 国重(松ヶ丘)組
 三位 青木 英幸(亀田町)組
 (男子六十五歳以上の部)
 三位 宮田 正松(ケ丘)組
 三位 安沢 宏(白根市)組

スポーツ大会結果
 新潟県テニス選手権大会
 ダブルスの部
 十月十一日(土)に長岡市希望ヶ丘テニス場で開催されました。

大会結果
 優勝 吉田 正信(矢代田)組
 三位 井浦 国重(松ヶ丘)組
 三位 青木 英幸(亀田町)組
 (男子六十五歳以上の部)
 三位 宮田 正松(ケ丘)組
 三位 安沢 宏(白根市)組

第九回全国生涯学習フェスティバル 大入満員!!

十月九日(木)から十三日(日)まで、新潟市産業振興センターで開催されました。この間、当町の皆さんを初め大勢の方々からおいで頂きました。

ありがとうございます。このフェスティバルの趣旨は、広く国民一般に対し生涯学習に係る活動を実践する場を全国的な規模で提供すること等により、国民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、もって生涯学習の一層の振興に資することを目的に開催されました。



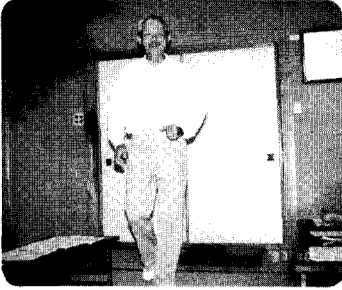
多ぜいの人たちでにぎわう小須戸町のブース



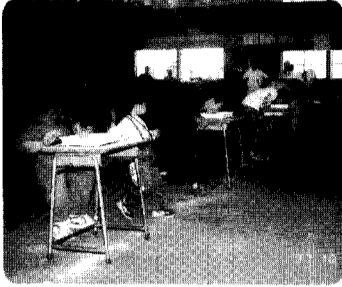
きれいに折られた折り紙に興味しんしんのお子さん



10月のナイスデイ



3日「おもしろ雑学講座」講師のジェスチャーを交えた楽しい講話でした。



5日 小須戸分館「ふれあいフェスティバル」外国の方との交流もあり大盛況。



17日「つくしんぼ」ミニ運動会。親子そろっての玉入れ。いくつ入るかな。

第十五回町民俳句大会 受賞発表

応募総数五百名以上の中から各部門に次の方々が入賞されました。おめでとうございませう。

- ◎中学生の部 (敬称略)
 - 町長賞 阿部修也(新保町)
 - 議会議長賞 加藤容子(蔵町)
 - 教育町賞 小川裕代(松ヶ丘)
 - 公民館長賞 藤井良枝(うさぎ)
 - 文化協会長賞 加藤緑(若葉町)
 - 俳句同好会長賞 木村健一(矢代田)
- ◎高校生の部
 - 町長賞 佐藤健志(新津市)
 - 議会議長賞 佐藤裕子(五泉市)
 - 教育町賞 夏川大樹(新保町)
 - 公民館長賞 熊倉奈津美(雁巻)
 - 文化協会長賞 鎌倉陽介(新津市)
 - 俳句同好会長賞 岡村彩(新津市)
- ◎一般の部
 - 町長賞 丸山虚秋(うさぎ)
 - 議会議長賞 丸山虚秋(うさぎ)
 - 教育町賞 間島秀穂(白根市)
 - 公民館長賞 間野良遊(新保三)
 - 文化協会長賞 東樹ちよ(文京町)
 - 俳句同好会長賞 藤井春(うさぎ)

新保分館文化祭

- ◎要約筆記奉仕員養成講座「要約筆記ってなあに?」
 - 耳の聞こえる者が耳の聞こえない方へ「ことば」を「文字」にかえることです。
 - 耳の聞こえない人々のため

催し物のご案内

◎要約筆記奉仕員養成講座「要約筆記ってなあに?」
耳の聞こえる者が耳の聞こえない方へ「ことば」を「文字」にかえることです。
耳の聞こえない人々のため
のボランティアです。
期日 十二月三日(水)、十七日(水)、
一月七日(水)、
十一月一日(水)
午後一時三十分～四時
主催 新津市社会福祉協議会、新津市要約筆記サークル「ゆうた」
申込み、問合せ先 新津市社会福祉協議会 (☎二四一八三七六)

分館催し物のご案内

矢代田分館芸術祭
日時 十一月三十日(日)
正午開演
会場 ふれあい会館

ふれあい電話相談

◆十二月の相談日
五日(金)・十一日(金)・十九日(金)・二十六日(金)
◆受付時間
午後一時～五時
◆電話番号
三八一三三〇〇
◎お名前を言わなくてもいいです。
◎秘密は固く守ります。

図書だより (新刊案内)

- ◎中央公民館
 - 宮本 輝
 - 神々の山嶺 夢枕 獺
 - ひまわりの祝祭 藤原 伊織
 - 斎藤史全集 童門 冬二
 - 小早川隆景 大藪 春彦
 - 雇われ探偵 村松 友規
 - 鎌倉のおばさん 濱田 雅功
 - がんとく 他五十四冊
- ◎ふれあい会館
 - 若い読者のための短編小説 村上 春樹
 - まる子だった さくらももこ
 - 氷の淑女 他十七冊

シリーズ 「今、子どもたちは」 (15)

「秋のさわやかな季節、一日野外で楽しい活動をさせた」と、今年から野外活動の日を設けました。子どもは外での活動が大好きです。心も開放的になり、ふだん見せない姿も表すものです。三年生は大沢公園をゴールとしてオリエンテーリングをしました。学級を解体して一組、二組の男女混合のグループを作り身近な自然に触れ合いながらみんなで協力し合い、問題に挑戦して走り回っていました。公園では、川遊びをしたり、どん汁作りに来ていた六年生と一緒に野球をする姿も見られました。幸い天候にも恵まれ、どの学年も学校ではできない楽しい活動になりました。来年度はもっとねらいをばり、グループ作り、活動内容等検討してさらに充実させたいと思っています。



夜間陶芸教室閉級
びんくろくまでした!
毎年、好評をいただいている夜間陶芸教室が十月十七日で無事閉級式を終えました。岡館長から一人ずつ修了証書が手渡されると、修了された方は感慨深そうな面持で証書を受け取り、又、一緒に陶芸の基本を学んだ級友からは温かい拍手が自然と湧き起こりました。本日に皆様嬉しそうでした。今年には全十五回コースで、四月十八日の閉級式から実技に入りました。回数をかさねるごとに自分の考えたものが形になってゆく。生徒さんたちは、わくわくしながら学んでもらえたと思います。又、製作技術の向上などを目的に、柏崎市の「木村美術茶道館」、「南山焼」を視察し作品づくりの参考にしました。完成した作品は町民展に出品していただき、来館された方々の目を引いていました。

文芸欄

柳 長電話芋の煮付けが焦けてます 我妻清作
脇で知恵をつけていそうな電話口 長井武雄
行く手間を惜しんで嫁の長電話 藤井春江
安産の電話転がるような音 渡辺信子

川 山深き高龍神社でふれあいし 大森美恵子
人らの温もり抱きて帰りぬ
好物のぶどうの甘き事などを 本多玲子
母と語りぬ老いの目立てば
霜月の夜を灯せば弱よわと 長井利恵子
蚊の一匹がまつわりてくる
唇に朱もいれなくて海砂の 村山 睦
熱きマラガの風を受けとむ

歌 月の出を縁に親子の詰将棋 花沢いせ子
花芙蓉肩をならべて老い姉妹 山崎しず枝
児童等の市場を描く秋日和 藤井れい
野仏の寄せ合ふ肩や萩こぼる 安達キヨノ
廃屋を覆ひ尽くして大銀杏 高橋みどり
秋晴れやふた山かけて鶯の家 小林富沙子
天よりも地の明るさの菊畑 五十嵐香月
居間の灯を細め秋雨聴きてをり 田中美根子
このあたり鴉の縄張り露座佛 間野良遊

俳句